

部門	工事写真	工事名	国補若穂西287号線道路改良工事
道路部門		工事場所	長野市若穂川田
		受注者	株式会社山倉建設
		工事概要	道路改良工 車道L=204.5m W=7.0m 歩道L=203.8m W=2.0m
	評価ポイント	本工事は（仮称）若穂スマートIC 整備事業に伴い既存市道を付け替える工事である。 また、掘削土工においてICT 機器を搭載した施工機械を導入することにより、効率的かつ精度よい作業を実現した。特に本工事区間は道路線形が曲線であったが、ICT 施工により任意の測点位置で座標管理を行うことができたため、精度よい出来形管理に貢献した。 さらには、川田小学校の児童に対して現場見学会を開催し、建設機械の乗車体験を通じて建設業への興味関心を持ってもらうとともに、地域から工事への理解を得ることで円滑な施工を図った。以上の取組により厳しい現場条件の中、苦情やトラブルがなく無事故で工事を完了させた。	

部門	工事写真	工事名	国補 弥勒寺橋橋梁補修工事
道路部門		工事場所	長野市大字平柴
		受注者	川浦土建株式会社
		工事概要	橋梁補修工 L=86.6m、W=5.2m(車道W=3.5m、歩道W=1.0m、地覆W=0.7m) 橋面補修工 A=63m2、支承補修工 N=16 箇所 断面修復工 V=7.63m3、表面含浸工 A=757m2 ひび割れ補修工 L=102m、橋梁塗装工 A=600m2
	評価ポイント	本工事は、橋面補修、支承補修、上部工（主桁、横桁）の塗装、下部工の断面修復等を実施したものである。このうち、橋脚の断面修復工においては、従来の目視や簡易計測では計測しづらく、細部まで深さを確認することが難しいという課題があったが、施工の各段階において3D スキャナによる寸法測定を行い、高い品質を確保することができた。また、安全性と地域配慮の両立を目指し、車両事故リスクを低減するための通行止規制を実施した。住民への事前周知も行い、車両の動線が明確となったことで、スムーズな誘導により、安全な通行環境を確保した。以上の取り組みにより、円滑な協力体制を構築のうえ、予定通り工事を完了することができた。	

部門	工事写真	工事名	国補 川中島幹線道路築造工事
道路部門	竣工 	工事場所	長野市 篠ノ井布施高田
		受注者	川中島建設株式会社
		工事概要	道路築造工L=218m W=16m 車道舗装工アスファルト舗装A=2,030m ² 歩道舗装工透水性アスファルト舗装A=1,153m ² 排水構造物工側溝L=500m集水桝N=12基 縁石工L=898m
	評価ポイント	本工事箇所は篠ノ井地区の住宅街密集地に位置し、保育園、公園、商工会議所等に隣接しており、道路工事に伴うライフラインや雨水渠、電柱移転工事など関連工事が輻輳する極めて複雑な現場環境である。日々変動する交通規制を分かりやすく周知するため、共通使用できる規制看板を作成し、進捗等を記載した工事便りを定期的に掲示・回覧したことで住民理解を深め、トラブル無く工事を竣工させた。 また、働き方改革の取組みとして、工事書類の作成や写真管理等の業務を担う「建設ディレクター制度」を導入し、全労働時間約2000 時間に対し108 時間の業務時間を縮減した。その結果、現場代理人が現場管理、品質管理等に集中して取り組む環境が整ったことで、多岐に亘る管理項目の規格値を満足し、見栄えの良い仕上がりを実現させた。	

部門	工事写真	工事名	国補 北八幡雨水調整池改修工事
河川部門	竣工 	工事場所	長野市平林一丁目
		受注者	株式会社守谷商会
		工事概要	洪水吐工 L = 46m 地盤改良工 φ1500mm N = 128 本
	評価ポイント	本工事は、北八幡雨水調整池の洪水吐施設築造に伴い、川底部の軟弱地盤対策として地盤改良を実施したものである。受注者は、オーガによる機械攪拌と高圧噴射攪拌を併用するハイブリッドシステムを提案・採用し、確実な品質を確保した。施工においては、固化材の注入量および排土管理を徹底することで地盤の側方変位を最小限に抑制し、調整池や北八幡川への影響をゼロに抑え、公衆災害の防止と周辺環境の保全に貢献した。また、同工法が抱える「仮設備の大規模化」という課題に対しては、地盤改良体サイズの縮小化を図ることで、限られた仮設ヤードに適合する設備計画へと見直した。迅速な工法変更手続きを行うことで工程への影響を最小限に留め、結果として工期の短縮を実現した。	

部門	工事写真	工事名	0 市債（仮称）茅井総合市民センター整備事業 建築主体工事
建 築 部 門		工事場所	長野市大字桜
		受注者	川浦土建株式会社
		工事概要	庁舎建設工事（公民館・支所） 構造：鉄骨造 階数：地上2階建て 延床面積：861.19 m ²
	評価 ポイント	施工写真や品質管理記録等が細かく整理されており、品質と信頼性の高い施工を実施している。狭隘な輸送経路や前面道路と高低差のある厳しい現場条件であったが、計画的に残土置き場、資材置き場及び作業ヤードを配置し、車両の進退を十分に考慮した仮設スロープを設置することで安全かつ円滑な施工を実現した。 基礎地中梁下のコンクリート型枠の代わりに押出法ポリスチレンフォームを捨て型枠として代用することで、型枠存置期間の短縮や型枠脱型手間を省くことにより工期短縮を図った。また、建物外周部に配置される足洗い場や機械基礎等においては、陸打ち工法等により工期後半の工期短縮を図った。	

部門	工事写真	工事名	0 市債（仮称）茅井総合市民センター整備事業 電気設備工事
電 気 設 備 部 門		工事場所	長野市大字桜
		受注者	東和電設株式会社
		工事概要	構造：鉄骨造 階数：地上2階建て 延床面積：861.19m ² 上記に伴う電気設備工事 一式
	評価 ポイント	施工過程において施工状況写真の整備や、施工方法に関する協議を建築工事、工事監理者を交え綿密に実施しており品質及び出来栄も優れている。 竣工図書もこれまでの協議内容の確認や、隠蔽部分の写真での確認も容易にできるよう丁寧かつ分かりやすく整備されている。 建築工事と調整しながら、意匠上の要望に沿った照明器具の選定や配置がされている。 発電機切替盤への配線の接続が容易にできるよう盤の加工を施すなど、施設利用者の視点に立った施工がされている。	

部門	工事写真		工事名	0市債 北部勤労者活躍支援センター建設 電気設備工事
電 気 設 備 部 門			工事場所	長野市吉田一丁目
			受注者	株式会社メイセイ電機
			工事概要	木造 平屋建て 807.46 m2 上記に伴う電気設備工事 一式
	評価 ポイント	受注者は、品質及び出来栄に優れた施工を行うとともに、しゅん工図書もよく整備していた。意匠にこだわった施設のため建築工事と調整しながら隠ぺい配線を行い、また照明器具の設置間隔等も意匠上の調整を踏まえて施工した。 また、建物の断熱・気密を確保しながらも止水性を高めるため、外壁貫通部に専用の防雨シートを用いるなど、省エネに配慮しながら品質を高める施工に取り組んだ姿勢が評価できる。		

部門	工事写真		工事名	0市債 北部勤労者活躍支援センター建設 機械設備工事
機 械 設 備 部 門			工事場所	長野市吉田一丁目
			受注者	吉恵設備工業株式会社
			工事概要	北部勤労者活躍支援センター 木造 平屋建て 807.46 m2 上記に伴う機械設備工事 一式
	評価 ポイント	工事目的物の品質及び出来栄に優れているとともに、しゅん工図書も施工状況が分かりやすく適切に整備されていた。 複雑な建物形状のため、B I M（3 D化+意匠・構造及び施工等の情報）を活用し、他工事との取合いや施工方法、材料の検討を行い工事の円滑化を図っていた。 また、木造構造であり機器の設置に課題があったが、支持方法を工夫し、品質を高める施工に取り組んだ点が評価できる。		

部門	工事写真		工事名	国補 南部1号雨水幹線工事
上下水道部門			工事場所	長野市大字稲葉
			受注者	株式会社守谷商会
	評価ポイント 本工事は、家屋が連坦する幅員4mの狭隘な市道直下に、外寸2.0mの大型ボックスカルバートを敷設する、施工空間が極めて制約された高難度な現場であった。隣接家屋との建築限界が至近であり、掘削に伴う地盤変位や振動が直接家屋へ影響を及ぼすリスクが高いため、慎重かつ高度な技術力と緻密な工程管理が要求された。支障となる上下水道管を切り回し、1日当たりの掘削延長を長くすると、出入りに支障となる件数や期間が長くなることから施工サイクルを工夫し、掘削から埋め戻しに至る期間の最適化を図る工夫をした。 また、周辺住民への心理的負担を軽減するため、着手前に全戸への個別訪問と丁寧な説明会を重ねて深い理解を得た。施工中も日々のコミュニケーションを絶やさず、苦情やトラブルを発生させることなく、円滑に工事を進めた。以上のように、卓越した施工技術、高度な危機管理能力、地域に寄り添った現場マネジメントにより、優れた品質でインフラ整備を見事に完成させた。		工事概要	水路工（開削工）L=70m ボックスカルバート1700×1700mm L=70m

部門	工事写真		工事名	西部処理分区下水道管渠更生1工区工事
上下水道部門			工事場所	長野市大字鶴賀権堂町 外
			受注者	日本ガス工事株式会社
	評価ポイント 本工事は中心市街地の工事車両が通行できない狭隘な道路が多く存在するエリアで、老朽化した下水道管を更生工法による改築工事を実施した。狭隘な施工箇所での通行止めや駐車場出入りへの影響を最小限に抑えるため、材料の運搬や引込みが人力で容易に行え、コンパクトな作業範囲で施工可能な工法を選択し、沿線住民の生活に支障をきたさないように努めながら、円滑に工事を進めた。また、飲食店や駐車場が多く点在するエリアであり、車両の出入りや駐車スペースの確保が特に懸念されたが、工程ごとに内容を細かく記載したお知らせ文を対象範囲に戸別配布し、周知を徹底したほか代替駐車場を十分に確保し、近隣住民や駐車場利用者と良好な関係を築き、苦情なく工事を終えたことも評価できる。		工事概要	下水道管渠更生工（自立管）内径250mm L=941m 鉄蓋交換 N=3箇所

部門	工事写真	工事名	国補 南長野運動公園フットボール場造成工事
公園部門		工事場所	長野市篠ノ井東福寺
		受注者	株式会社 塚田造園
		工事概要	基盤整備工 盛土工 V=23,700m ³ L型擁壁工 (750~2250) L=127m 施設整備 観覧階段・スタンド工 L=97.9m
	評価ポイント	本工事は、令和10年度に開催される信州やまなみ国スポ・全障スポの競技会場である南長野運動公園フットボール場を造成する工事である。令和9年度の秋に開催するプレ大会までの主要な施設整備完了が必須となっている。埋蔵文化財発掘調査による着手時期の制限、建築工事予定箇所の早期完了等、施工期間に制約がある中、ICTを活用した施工や試験盛土の実施等の工夫により、必要な品質を確保した上で、工程の短縮を図り、定められた期間内に造成を完成させた。 また、観覧スタンドのコンクリート養生では、足場材を活用してスタンド全体を覆って特殊養生を行うなど、品質確保のため創意工夫を行った。	

部門	工事写真	工事名	長沼地区河川防災ステーション地盤改良工事
造成部門		工事場所	長野市大字穂保
		受注者	株式会社北條組
		工事概要	地盤改良工 一式 サンドマット 4530 m ² 深層混合処理 630 本
	評価ポイント	本工事は、令和元年東日本台風からの復興の象徴となる「長沼地区河川防災ステーション」の基盤を支える重要度の高い地盤改良工事である。大型建設機械が中心となる施工であるため、資材や機械の搬入経路が限定されており、隣接地で進める国土交通省千曲川河川事務所発注工事と堤防道路からの搬入路使用について連携を図り進めた事業である。地盤改良工においては、ICT技術を採用し、改良体の位置出し精度向上や、盛り上がり土と呼ばれる発生土の土量把握を正確に行うことができ、効率的な施工につながった。 また、完成予想図を現場の囲いに設置しイメージできるよう取り組んだことや、現場見学会を積極的に実施し、防災ステーション整備が確実に進捗していることを地域住民にお知らせする機会を多く設け、理解へと繋げることができた。受注者は、これらの取り組みにより現場条件の克服や、最新技術を取り入れた施工効率および周辺住民への見える化を併せながら、完全無災害で工期内に工事を完遂した。	